

強化普及委員会では、下記の新規事業について、公募により事業を行う予定です。

令和5年度より中学校では学校部活動の外部化も進み、育成年代において競技団体の果たす役割が大きくなります。高カテゴリーのチームでは「自チームの強化」から、他のカテゴリーも含めた「自地域の強化」を考えなくては、「競技そのものの未来」が失われることにも繋がりがかねません。そこで、各地域での普及・育成・強化を推進すべく下記の事業を計画しました。

○「地域連携競技力向上事業」

1 事業概要

地域の高等学校・中学校・(小学校)が連携してカテゴリーを超えた練習会を行い、地域の競技力向上や競技人口の確保、指導者コミュニティの構築の一躍を担う。

2 事業内容

- ・下記小地区ごとに、地区の高等学校が中心となり、定期的に練習会や指導者交流研修会を行う。
- ・競技人口拡大や競技継続人数の増加、指導者コミュニティの構築を目的とした練習会とし、単独チーム同士の練習試合の場とならない様に留意する。(男女共催可)

小地区:東部地区(賀茂東豆、沼津駿東、三島田方、富士富士宮等)中部地区(静岡・志太榛原等)
西部地区(小笠・磐周・浜松・湖西等)

3 予 算 4万円(報償費・旅費・使用料・需用費・役務費・保険料等)※詳細は要項にて

○「放課後児童クラブ バレーボール教室」

1 事業概要

地域の高校生(大学生・実業団・ママさん)がバレーボール未経験の小学生にバレーボールの魅力を発信することで中学校年代の競技人口の確保の一躍を担う。

2 内 容

高校生が小学生(放課後児童クラブ児童)とのバレーボールを通じた交流(スマイルバレーボール・バドミントン簡易ネット)を行う事で、バレーボールに親しみ、地域小中学校の競技人口拡大を図ると共に、スポーツに親しむ習慣を育む。

3 予 算

1事業につき、スマイルバレーボール×2、バドミントン簡易ネット×1を支給
(事業終了後は放課後児童クラブに寄贈) ※詳細は要項にて